

学習指導要領		都立多摩高校 学カスタンダード
<p>(1) 現代の政治</p> <p>現代の政治について関心を高め、基本的人権と議会制民主主義を尊重し擁護することの意義を理解させるとともに、民主政治の本質について把握させ、政治についての基本的な見方や考え方を身に付けさせる。</p> <p>ア 民主政治の基本原則と日本国憲法</p> <p>日本国憲法における基本的人権の尊重、国民主権、天皇の地位と役割、国会、内閣、裁判所などの政治機構を概観させるとともに、政治と法の意義と機能、基本的人権の保障と法の支配、権利と義務の関係、議会制民主主義、地方自治などについて理解させ、民主政治の本質や現代政治の特質について把握させ、政党政治や選挙などに着目して、望ましい政治の在り方及び主権者としての政治参加の在り方について考察させる。</p> <p>イ 現代の国際政治</p> <p>国際社会の変遷、人権、国家主権、領土などに関する国際法の意義、国際連合をはじめとする国際機構の役割、我が国の安全保障と防衛及び国際貢献について理解させ、国際政治の特質や国際紛争の諸要因について把握させ、国際平和と人類の福祉に寄与する日本の役割について考察させる。</p>	<p>国内の政治や諸外国の政治について、新聞記事やテレビ・インターネットのニュースを授業で扱い触れさせる。基本的人権の在り方や問題について考えさせ、将来の主権者として思考・判断することができる力を身に付けさせる。</p> <p>ア 民主政治の基本原則と日本国憲法</p> <p>日本国憲法の条文の中からいくつか抜粋し、我々の暮らしや人権が日本国憲法に保障されていることに気づかせる。また、青梅市や近隣の自治体それぞれの取組や財政状況などを概観し、地方自治制度の仕組みと問題について考察させる。</p> <p>イ 現代の国際政治</p> <p>領土問題や紛争などを取扱い、国家同士の主権争いの動向に触れさせる。その際、それぞれの歴史的背景や主張を理解させ、両者を比較させながら考察させる。</p> <p>安全保障や国際貢献の現状については、日本の取組を通して理解させる。その中で、国際的な相互依存関係の高まりやその影響を考察させる。</p>	

学習指導要領		都立多摩高校 学カスタンダード
<p>(2) 現代の日本経済及び世界経済の動向について関心を高め、日本経済のグローバル化をはじめとする経済生活の変化、現代経済の仕組みや機能について理解させるとともに、その特質を把握させ、経済についての基本的な見方や考え方を身に付けさせる。</p> <p>ア 現代経済の仕組みと特質                      経済活動の意義、国内経済における家計、企業、政府の役割、市場経済の機能と限界、物価の動き、経済成長と景気変動、財政の仕組みと働き及び租税の意義と役割、金融の仕組みと働きについて理解させ、現代経済の特質について把握させ、経済活動の在り方と福祉の向上との関連を考察させる。</p> <p>イ 国民経済と国際経済                      貿易の意義、為替相場や国際収支の仕組み、国際協調の必要性や国際経済機関の役割について理解させ、グローバル化が進む国際経済の特質について把握させ、国際経済における日本の役割について考察させる。</p>	<p>現代社会における経済活動の在り方を扱う。消費者だけでなく生産者の立場が行う経済活動に注目させ、両者の利害関係を調整する必要がある諸課題について考察させる。</p> <p>ア 現代経済の仕組みと特質                      需要曲線と供給曲線の仕組みを理解させ、それらがシフトする原因を身近な題材を通して理解させる。また、市場経済の在り方から、競争や独占・寡占の発生を考察させる。                      景気変動についてはGDPやGNPを扱い、財政の仕組みと租税制度や金融の仕組みについては、生徒にとって身近な出来事や疑問などを視覚や聴覚に訴えるような実物教材や映像などを見せて理解と考察を深めさせる。</p> <p>イ 国民経済と国際経済                      貿易については比較優位と保護貿易の考え方を中心に扱う。グローバル化が進む現代の経済の中で、国際経済の安定と成長のために果たすべき日本の役割について様々な考え方を踏まえて思考・判断させる。</p>	

学習指導要領		都立多摩高校 学カスタンダード
<p>(3) 現代社会の諸課題</p>	<p>政治や経済などに関する基本的な理解を踏まえ、持続可能な社会の形成が求められる現代社会の諸課題を探究する活動を通して、望ましい解決の在り方について考察を深めさせる。</p> <p>ア 現代日本の政治や経済の諸課題 少子高齢社会と社会保障、地域社会の変貌と住民生活、雇用と労働を巡る問題、産業構造の変化と中小企業、農業と食料問題などについて、政治と経済とを関連させて探究させる。</p> <p>イ 国際社会の政治や経済の諸課題 地球環境と資源・エネルギー問題、国際経済格差の是正と国際協力、人種・民族問題と地域紛争、国際社会における日本の立場と役割などについて、政治と経済とを関連させて探究させる。</p>	<p>現代社会の諸課題について、政治分野と経済分野で既習の事柄の中から取り上げ考察させる。教師が提示する課題だけでなく、それぞれの生徒の興味・関心に応じた課題探究をさせる時間を設け、諸課題の解決の在り方について考察させる。</p> <p>ア 現代日本の政治や経済の諸課題 高校卒業後に就職する生徒が多い現状を受け、社会保障制度では生活保護や福祉を、雇用と労働を巡る問題については非正規雇用の問題について扱う。これらの問題が生じる原因を様々な資料の比較・検討を通して考察させ、意欲的に探究させる。</p> <p>イ 国際社会の政治や経済の諸課題 資源の有限性を理解させ、資源を効率よく分配するような国際政治・国際経済の在り方を考察させる。国際社会における日本の立ち場を理解させ、持続可能な国際社会の形成のために必要とされる事柄について理解し、その知識を身に着けさせる。</p>